

# こんにちは！ 地域おこし協力隊 です

※地域おこし協力隊とは、人口減少等の課題を抱える地方の自治体が、都市部の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を図ることを目的として設立された制度です。

臼杵市では、現在6名の協力隊が移住し、地域活動に関わっています。

こんにちは。少しずつ皆さんに浸透してきたのではないかと期待している地域おこし協力隊(以下、協力隊)に、さらに7月から新しい仲間が加わりました！今回は一般隊員として着任した福本さんを紹介します。



ふくもと わたる  
**福本 航**

・34歳  
・東京都より移住  
・住まいは下ノ江

福本さんは大阪生まれ。立命館アジア太平洋大学に進学し、大学時代を大分で過ごしました。その後、東京で働いていた福本さんですが、今年初めに臼杵で農泊を体験した際、「協力隊が来て、生活が楽しくなった」という話を聞いたそうです。元々なじみのあった大分で、先輩隊員の活躍を聞き、「自分も協力隊として活動し、地域に貢献したい」と思い、応募しました。そんな福本さんの特技は、ウェブを使った情報発信。「カンタン動画入門 (<http://douga-tec.com/>)」という個人サイトを運営しており、それがきっかけで本も出版しているのだとか！この強みを活かし、新たな臼杵の情報発信をしてくれるのが楽しみです。東京から愛猫を連れて移住し、下ノ江で近所の猫にも囲まれて暮らしています。イベント等で動画を撮影している姿を見かけたら、お気軽にお声かけください(^^) /



## 活動紹介

第13回 うすき赤猫まつり『赤猫人形づくりワークショップ』  
～「赤猫人形を作って母の日に贈ろう！赤猫先生と粘土教室」～



山岡隊員・石橋隊員

平成28年4月29日(金)・30日(土) 開催



1

うすき赤猫まつりは、質素  
節約で財を成し「赤猫」と呼ば  
れた臼杵商人にあやかり福を  
招くお祭り。赤猫の仮装をした  
子ども達の「赤猫おどり」の  
パレードが人気です。



子どもたちは  
興味深々！

スタッフは赤い物を  
身につけた「赤猫先生」

3

完成品を可愛く  
ラッピング！

2

この祭りを盛り上げようと、  
小規模校の美術の先生もして  
いる山岡隊員と、実行委員会  
から依頼を受けた石橋隊員が中  
心となりワークショップを開催。  
文化の継承や、友達・親・兄弟  
とのふれあいに繋が  
りました。

軽量粘土を使い、手のひらに  
おさまるくらいの人形を制作。  
ラッピングやメッセージカードも  
添えて母の日のプレゼント用に  
仕上げました。参加した子ども  
は両日で84人！赤猫まつりに新  
たな賑わいが生まれました。



山岡隊員の作品

## お知らせ

一般隊員の福山薫さんは、一身上の都合により6月末を持って協力隊を退任しました。現在は鹿児島の実家でパン屋さんをめざして頑張っています。地区の方をはじめ皆さまに大変お世話になりました。